

令和2年10月2日

令和3年度滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程外国人留学生入試（夏季）
における出題ミスについて

滋 賀 大 学

このたび、令和2年9月17日（木）に実施いたしました、令和3年度滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程外国人留学生入試（夏季）の試験問題において、試験終了後に出題ミスがあることが判明しました。

ここに、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に向け万全を期す所存であります。

1. ミスの概要

(1) 試験科目名

統計学

(2) ミスの内容

試験問題のV. において、(1)の問題文中で「両年代」と記載すべき箇所を誤って「両県」と記載してしまった。

(3) 当該問題の抜粋

V. ある都市の30歳代600人と40歳代700人のビジネスマンを対象に、キャッシュレス決済の経験についてアンケート調査を行った。その結果、30歳代では552人、40歳代では623人が経験ありと答えた。

(1) 両県での経験の割合に差があるかどうかを、有意水準5%で検定せよ。

2. 受験者に対する対応

当該試験科目を選択した受験者全員（2名）の解答を確認し、問題文の記述ミスが解答に影響していないと判断した上で合否判定を行いました。